

名古屋出入国在留管理局

令和5年度採用案内



出入国在留管理庁の役割

出入国在留管理庁は出入国在留管理行政を通じて日本と世界を結び、人々の円滑な国際交流を図るとともに、不法滞在者等の日本にとって好ましくあらざる外国人を国外退去させるなど、日本社会の健全な発展に寄与する役割を担っています。グローバル化する日本社会において出入国在留管理庁はますます存在感を増し、一層の輝きを放っています。



入国審査官は何をやっているの？

入国審査官は出入国審査のスペシャリストで、空港や海港では出入国する全ての人の出入国審査を行っています。また、日本に住んでいる外国人の在留期間更新・在留資格変更等の審査、出入国管理及び難民認定法違反者に対する違反審査及び難民認定に係る審査を行うなど各種の審査業務等を行うことにより、日本の安全と国民生活を守りつつ国際交流の円滑な発展に貢献しています。また共生社会の実現に向けて、在留支援に関する業務も積極的に行っていきます。



名古屋出入国在留管理局ってどんなところ？

名古屋出入国在留管理局は東海・北陸地方を管轄する出入国在留管理庁の地方支分部局です。本局は名古屋市港区に庁舎があり、管轄内には8つの出張所（富山、金沢、福井、岐阜、静岡、浜松、豊橋港、四日市港）があります。また、中部国際空港（セントレア）には中部空港支局があり、多くの職員が出入国審査に従事しています。



職場の雰囲気教えて！

和気あいあいとした雰囲気、職員同士がお互いに助け合いながら個性と能力を伸ばしていける職場です。仕事がわからないときは上司や先輩が親身に指導してくれます。とても魅力あふれる職場ですので、どなたに対しても名古屋出入国在留管理局で働くことを自信を持ってオススメします。



外国語は話せないとダメなの？

話せるに越したことはありませんが、採用時に話せなくても問題ありません。様々な語学研修が用意されているので、希望すれば採用後に外国語を身に付ける機会がたくさんあります。語学を頑張りたいと思っているあなた！名古屋出入国在留管理局に入って私たちと一緒に仕事をしてみませんか！



若手職員へのインタビュー



審査管理部門
I・Aさん（女性）
令和3年4月採用

Q 業務内容と職場の雰囲気教えてください。

在留支援業務を担当しており、主に外国人や外国人支援業務に従事している方からの相談に対応したり、関係機関の方々と連携した取組を行っています。先輩職員の方々はとても優しくご指導くださり、私が理解できるまで丁寧に教えてくださいます。私も先輩方の役に立てるように、そして先輩方のような職員になれるように成長していきたいと思わせてくれる職場です。



行政相談の風景

Q やりがいを感じるのとはどんなときですか？

在留資格制度や入管手続は複雑で覚えなければならないことも多いですが、学んだことを生かして相談対応ができたときに、外国人の在留支援業務に携わっていることを実感し、やりがいを感じます。

Q 名古屋出入国在留管理局を目指す方へメッセージをお願いします。

名古屋出入国在留管理局では、外国人の出入国や日本での生活に関する様々な業務に携わることができ、多くの部署でたくさんの経験ができる職業だと思います。コロナ禍で大変な時期ですが、体調に気をつけて頑張ってくださいねと思います。

留学審査部門
F・Sさん（女性）
令和4年4月採用

Q 業務内容と職場の雰囲気を教えてください。

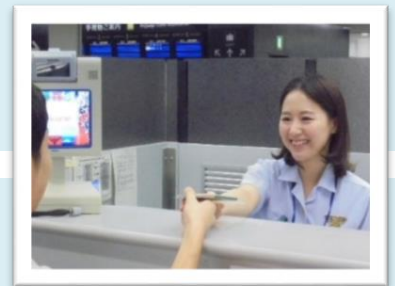
留学の在留資格の入国事前審査や留学生を受け入れる教育機関への対応業務、部門内の円滑な業務体制をサポートする庶務業務に従事しています。職場の雰囲気はとても温かく、先輩職員の方々は丁寧にご指導くださいます。職員同士のコミュニケーションが活発であるため、何事も相談しやすく、意欲的に業務に取り組むことができる環境であると感じます。

Q 入国審査官を目指したきっかけと志望動機を教えてください。

大学時代に移民問題に関する勉強や、日本に住む外国人の方と関わる活動に取り組んでおり、グローバル化が進む日本に携われる入国審査官の仕事に興味をもちました。日本と海外の橋渡し役となり、日本の安全と国際交流を支えたいと思い、志望しました。

Q 名古屋出入国在留管理局に働いて良かったことを教えてください。

様々な人の人生に接する仕事であるため、責任が大きくやりがいを感じます。慣れない業務をするときは戸惑うこともありますが、日々新しいことを学び、知識や経験を積むことができるので、自己成長を感じられるところが良い点だと思います。



上陸審査を行う入国審査官
（中部国際空港）

中部空港支局
第三審査部門
W・Yさん（男性）
令和3年4月採用

Q 業務内容と職場の雰囲気を教えてください。

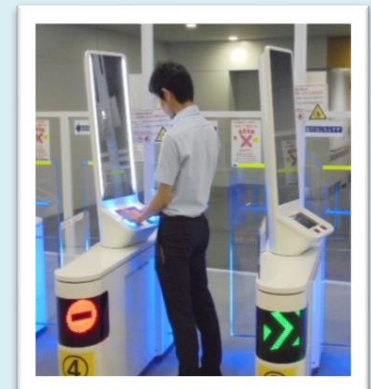
私は出入国審査の業務に従事しています。中部空港にて日本を出国又は日本へ入国（帰国）する全ての人の審査をしています。また、職場にはわからないことを質問しやすい雰囲気があり、安心して業務に取り組むことができます。

Q 今までの業務の中で、苦労したことや失敗したことはありますか？

私はこれまで海外に行ったことがなく、採用当初は空港での業務についてなかなかイメージを持つことができませんでした。しかし、各種研修に参加したり、先輩方からアドバイスをもらったおかげで、業務に慣れることができました。現在も、より業務に習熟するため、勉強会に参加したり、学習したことの復習を行うなど、自己研鑽に努めています。

Q 採用前のイメージと実際働いてみてのギャップがあれば教えてください。

私は空港に来るまでは、空港は英語が飛び交っている場所だと想像していましたが、実際には英語も日本語も話せない人が多いことに驚きました。言葉の通じない人とコミュニケーションを取ることは難しく大変ですが、様々な文化と触れ合えることは、空港での業務の面白いところでもあると思います。



中部国際空港 顔認証ゲート

入管職員の日

在留審査

名古屋出入国在留管理局
永住審査部門
K・Hさん（男性）
令和2年4月採用

本局勤務の1週間

月 在留審査/電話・窓口対応
火 在留審査/電話・窓口対応
水 在留審査/電話・窓口対応
木 在留審査/電話・窓口対応
金 在留審査/電話・窓口対応
土 休み
日 休み

9:00 在留審査業務を開始します。日本に居住資格をもって在留している外国人の審査を担当します。日本に滞在するための在留資格に該当しているか、またどれくらいの期間の滞在を認めるか審査をします。提出された書類等に齟齬はないか、収入・納税状況に問題はないか等、様々な観点から確認します。

13:00 引き続き審査を行います。提出された書類で判断できない場合は、追加で書類を求めたり、申請人や関係者から事実を確認したりもします。また、審査業務の他にも、電話での問合せに対する対応や窓口に来られた方からの行政相談を受け、その方々が必要とする情報を回答しています。

17:00 申請書類の整理・分類、データ入力をします。

17:45 書類の片づけ等を行い、業務終了です。

出入(帰)国審査

名古屋出入国在留管理局
中部空港支局第二審査部門
H・Tさん（男性）
令和3年4月採用

支局勤務の1週間

月 勤務入り(上陸審査業務)
火 勤務明け
水 休み
木 勤務入り(上陸審査業務)
金 勤務明け
土 休み
日 勤務入り(出国審査業務)

※基本的にこのサイクルの繰り返しになります。

日本人へは出帰国の際に本人確認の上、旅券に確認の証印をし、外国人へは上陸の際に本人確認及び必要な審査を行い、在留資格と期間を決定の上、旅券に証印をするなどします。訪日外国人が増加している中で、速やかに審査を行う一方、日本での滞在を認めてはならないような外国人が入国しないよう注意し、円滑かつ厳格な入国審査を心掛けています。基本的に空港での業務は出入国審査になりますが、航空便がない時間帯は入管業務に関する研修に参加したり、自分の関心があることを学んだり、自己研鑽に励むことができます。

10:00 勤務開始(上陸審査業務)

13:00 昼食

14:00 上陸審査業務再開

17:00 上陸審査業務終了

18:00 自庁研修

19:00 夕食

20:00 部門内で入管業務に関する勉強会

0:00 仮眠室に戻りシャワーを浴びて就寝

翌5:30 起床

7:00 上陸審査業務

10:00 退庁

※シフト勤務の一例



名古屋入管公式マスコット
なごみん



在外公館経験者の声



海外勤務
のチャンスも
あります!!

名古屋出入国在留管理局 総務課 平成17年10月採用

S・Kさん(男性) 平成28年2月～平成31年3月:在外公館(台湾・高雄)で勤務



Q. 在外公館で勤務していた時の体験談について教えてください。

ビザ(査証)を発給したり、在留邦人が安全・安心に生活ができるよう支援する領事業務を担当していました。そのような中で、北京や香港での会議に出席したり、日本政府の代表として、各国が主催する様々なレセプション等へ参加することを通じ、台湾を始め各国の入管や警察当局出身者などと意見交換を行ったことは貴重な経験でした。特に台湾人は人情に厚いところがあり、家族ぐるみで仲良くしている人たちとの交流も楽しみの一つでした。プライベートでは長期休暇を利用し、台湾内はもちろんのことアジアやオセアニアなどにも家族や同僚らと旅行した思い出は一生忘れることがないでしょう。

このように、入管は本人の意欲と努力次第で様々な活躍の場面と機会を得ることができる魅力的な職場です。あなたが将来してみたいと思う分野の仕事が、入管には必ずあるはずです。是非入管の扉をたたいてみてください。そして一緒に働きましょう!

※名古屋出入国在留管理局の職員で在外公館に向向した国・地域は、ブラジル、中国(北京・上海・広州・香港)、ベトナム、台湾(台北・高雄)など多岐にわたっています。

◆◆勤務条件等◆◆

給与・諸手当・昇任

初任給(令和5年4月1日現在)

名古屋出入国在留管理局勤務の場合)

:一般職(大卒程度)で学歴・職歴加算がないとき

212,980円(地域手当含む)

:一般職(高卒者試験)で学歴・職歴加算がないとき

177,790円(地域手当含む)

扶養手当:配偶者等を扶養している者に、

月額10,000円等

住居手当:借家(賃貸のアパート等)に住んでいる者等に、

月額 最高28,000円

通勤手当:交通機関を利用している者等に、一箇月当たり

最高55,000円

その他:超過勤務手当、期末手当、勤勉手当等

係長から課長補佐に役職が上がる、というような昇任は、人事評価による能力・実績に基づいて行っています。

転勤

一般的には、2～3年で担当業務の配置換があります。

また、転居を伴う異動は、「身上意向書(※)」を参考に、本人の意向を考慮するようにしています。

※身上意向書とは、職務に対する適性や人事上の希望、家庭の事情などを毎年書面で提出するものです。

ワークライフバランス

出入国在留管理庁では、平均15日以上、年次休暇を取得することを目標としており、令和3年度の平均年次休暇取得日数は15.9日と目標を上回っています。

また、出産・育児についても、女性職員のみならず、配偶者である男性職員が育児参加休暇や育児休業を取得できるよう積極的に取り組んでいます。

そのほか、介護などで勤務に制約のある職員が無理なく安定的に働けるよう、フレックスタイム等の制度も利用できます。

研修

研修の種類

全職員が参加する初等科研修及び中等科研修を始め、高等科研修、専攻科研修、特別科研修等があり、職務の遂行に必要な知識及び技能を修得しています。

また、語学研修として、勤務時間の終了後に語学学校に通う在勤地語学研修、勤務を離れて全日制で語学学校に通学する語学委託研修があります。

初等科研修

初等科研修は、採用後間もない職員が参加します。業務に必要な法律の基礎や外国語を学ぶとともに、国家公務員として働くに当たっての素養を身につけます。新型コロナウイルス感染症流行後は、オンライン研修と集合研修(短期間)を組み合わせで行っています。

◆◆採用に関するお問い合わせ先:名古屋出入国在留管理局総務課人事係
〒455-8601 名古屋市港区正保町5丁目18番 ☎0570-052259
(部署番号 010#)

